

みちしるべ NO. 10

学校教育目標「自分から行動できる子・すすんで学ぶ子・たすけ合う子・きたえる子」



学びあい 支えあい 高めあい 笑顔あふれる学校
優しさと厳しさと温かさで
子どもを鍛え、育む地域の学校を目指して



学ぶのは私たち ～工夫すれば、できる～ 校長 川島 正晴

東京オリンピック・パラリンピックの成果と影響について、様々な意見が交差していますが、そこから何を学ぶのかは、私たち次第です。

埼玉新聞の1面「月曜放談」では、経済的損失を踏まえてなお、この大会が残したものについて、池田一義・埼玉りそな銀行会長は次のように指摘しています。

■ コロナ禍における開催への賛否など、さまざまな意見が巻き起こった中で、一番大きな負担を強いられたのは選手たちだったのではないかと。無観客で声援や歓声のない中、多くの選手たちは大会が開催されたことへの感謝の言葉を語っていた。感染予防に加えて、競技における極限の緊張感と、通常ではありえない位の精神的負担を背負っての参加であったことに心を打たれた。＜中略＞金メダルを獲得したアスリートだけでなく、メダルは無くもそれぞれにドラマがあり、苦難を乗り越えた軌跡や、国を超えた友情、勝者と敗者がともに称えあう光景に胸を熱くした。スポーツは自利のものだけではなく、利他のものでもあることを改めて認識した。(埼玉新聞、令和3年9月6日(月)第27534号、1面より) ■



私は、パラリンピックの種目で、最下位でも笑顔で泳ぎ切ったり走り切ったりする姿に学ぶことがたくさんありました。無理と思われる体勢でも、できそうにもないとあきらめてしまうような体勢でも、やればできるんだ！という工夫と努力に学びました。

スポーツへの探究心と心の鍛錬が表現する姿に私が学んだのは、工夫と努力のはてしない可能性であり、これからの学習や生活への夢や希望でもありました。

やればできる。願い続ける強さをもつ。世界のトップアスリートの姿から何を学ぶか。それが問われているのは、私たちのこれからではないでしょうか。

好きなことをみつけたら、どんどん工夫してやってみよう！ できない、と思うことがあったら、どうしたらできるかを考えてみよう！ そんな権小の子ども達を、私たちは学びあいをとおりて見守り、認め、励まし、教え、鍛えていきます。

保護者や地域の皆様のお力添えにより、オンライン授業も進めながら短縮日課の期間を乗り切ることができました。ありがとうございました。心より感謝しています。これからは、通常の日課に戻しつつ、感染予防対策を徹底する中で楽しい学校づくりを進めてまいります。

みんなの運動会(10月3日)は中止となりましたが、児童だけの運動会は10月1日(金)に授業の一環として実施します。授業参観としますのでどうぞご覧ください。